

事業評価個票（事業実施：令和2年度）

（様式2）

事業名	イノシシ等鳥獣被害緊急対策事業費					活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
部局名	環境エネルギー部						事業を活用して被害対策を実施した市町村数(延数)	活動実績	市町村	20					
担当課名	みどり自然課							当初見込み	市町村	20	23	26	29	32	
事業開始年度	令和2年度		事業終了(予定)年度		未設定		活動実績								
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱5] 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用 [政策3] 地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり					成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標(所管部局の分析)		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	施策	[施策1] 自然環境や文化資産の保全・活用・継承						成果実績	百万円	調査中					
目標指標	環境学習の環境保全活動の参加者数		190千人(R6)			イノシシによる農作物被害額 (事業を活用して被害対策を実施した市町村が増加することで、農作物被害額増加の抑制・軽減に寄与する。)		目標値	百万円	76	76	74	70	65	
事業の目的	イノシシの生息域の拡大に伴い、農作物被害が広域化し、農作物被害額が急増している。このため、既存事業に加え、新たにイノシシ等の緊急対策を実施し県全域で総合的な対策を充実させ、被害を軽減する。また、シカの目撃件数が急増し、農作物被害の増加が懸念されるため、早い段階で捕獲を強化し、生息数を抑制する。					達成度		%							
事業概要	1 イノシシ等への被害防除意識を醸成する研修会開催：1,000千円(国庫10/10) イノシシ等の農業被害の初期段階にある地域に、鳥獣被害対策アドバイザーを派遣し、被害防除意識(自助・共助)を醸成するための研修会を開催(4地域で各3回開催)					成果実績									
	2 イノシシの効果的な捕獲の実施：6,000千円【県単事業】 ① 捕獲時に損傷した「くくりわな」を補修し、継続的な捕獲につなげるため、補修資材の購入を支援(2,000千円)(県1/2・市町村1/2) ② 民間事業者との連携により、わな捕獲時の見回りの負担を軽減(4,000千円)(モデル事業として4地域で実施)(県1/2・市町村1/2)					目標値									
	3 イノシシ等の捕獲の担い手の確保・育成の強化：4,240千円【県単事業】 ① 新規狩猟免許取得者等の猟友会入会を促進するため、猟友会による狩猟セミナーを4地域で開催(1,000千円)(県10/10) ② 猟銃事故を防止するため、有害捕獲実施者向けに行う安全射撃講習会時の射撃訓練の弾代を支援(3,240千円)(県10/10)					達成度	%								
	4 早い段階でのシカの捕獲対策の実施：2,750千円【県単事業】(県10/10) シカが爆発的に増加する前の早い段階で捕獲を強化するため、シカの越冬地等において捕獲を実施(2地域で実施)					成果実績									
活動指標及び成果指標設定の考え方															
本事業による取組みは、鳥獣被害対策を中心となり実施する市町村(鳥獣被害対策協議会)への補助としており、活動指標には「事業を活用して被害対策を実施した市町村数」を、実施した被害対策によりイノシシの農作物被害額の軽減に寄与することから成果指標には「イノシシによる農作物被害額」を設定した。活動指標、成果指標の設定水準は、現在の被害額増加の抑制・軽減を主眼とし、第2期山形県イノシシ管理計画における捕獲頭数の推移や県内の被害対策実施状況を勘案して設定した。															
事業所管部局による評価・検証(令和3年7月)															
							項目	評価	評価に関する説明						
実施方法	■ 直接実施    ■ 委託・請負    ■ 補助    □ 負担    □ 交付    □ 貸付					事業の効率性	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	A	市町村、JA等からは、急増しているイノシシ等による農作物被害の軽減のため、助成制度の拡充及び交付金(補助金)の十分な予算の確保を求める多くの要望が寄せられており、優先度の高い事業となっている。						
	□ その他 ( )							事業の有効性(達成度)	活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	B	イノシシ等の有害鳥獣による被害防止対策として何をすれば良いか、次第に県民に被害防除意識が浸透してきており、補助事業を活用する市町村数も増えてきている。具体的な被害防止対策を講じることにより、取組みの効果がでてきた地域もあるが、イノシシ等は捕獲頭数以上に増え続けており、新たに被害が発生する市町村もあるため、引き続き補助事業の積極的な活用を促していく。				
上記実施方法とする理由：被害対策を実施する市町村、鳥獣被害対策実施者(猟友会等)を支援し、効果的な対策を行うため					事業の有効性(達成度)	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	B			イノシシによる農作物被害額は、平成28年度26百万円、平成29年度51百万円、平成30年度73百万円と、近年急増していたが、令和元年度は前年度から微増の74百万円にとどまった(令和2年度は現在調査中)。当該事業によるイノシシ等の鳥獣被害防止対策の効果は確実にあがってきており、今後とも継続して事業に取り組み、被害額の軽減を図る。また、捕獲の担い手の確保・育成の取組みの結果、狩猟免許所持者数(R2.3:2,972人→R3.3:3,131人)、県猟友会会員(R2.3:1,616人→R3.3:1,699人)と増えている。					
当初予算額 (単位:千円)	費目 (予算見積書グループ名)	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度	課題・改善点	県では、イノシシ等の有害鳥獣対策として、市町村が被害防止計画に基づき実施する被害防止活動を支援する。また、「被害防除対策」、「生息環境管理」及び「捕獲対策」を組み合わせ、住民主体の集落単位による総合的な取組みを推進し、得られた成果を周辺地域から県全体へと波及させることとしている。当該事業は、主に地域における鳥獣対策の合意形成や捕獲対策に係るものであるため、当該事業に並行して、農作物被害の軽減に即効性のある侵入防止柵の設置整備事業を強力に推進することにより、イノシシ等による農作物被害の軽減を図っていく。					
	イノシシへの被害防除意識を醸成する研修会開催	1,000	1,000												
	イノシシの効果的な捕獲の実施	5,000	2,247												
	イノシシ等の捕獲の担い手の確保・育成の強化	4,014	2,926												
	早い段階でのシカの捕獲対策の実施	2,613	2,613												
	最新技術の活用による鳥獣被害対策等実証		5,926												
野生イノシシ捕獲における防疫対策		2,979													
計	12,627	17,691	-	-	-										
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	1,000	8,847												
	県債														
	その他特定財源														
	一般財源	11,627	8,844												
計	12,627	17,691	-	-	-										

(評価基準)  
A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:概ね目標どおりの成果、活動見込を概ね達成(80~99%)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(79%以下)

# イノシシ等鳥獣被害緊急対策事業費【新規】

12,627千円

## 目的

- イノシシの生息域の拡大に伴い、農作物被害が広域化し、農作物被害額が急増している。このため、既存事業※（電気柵設置等）に加え、新たにイノシシ等の緊急対策を実施し県全域で総合的な対策を充実させ、被害を軽減する。
- シカが目撃件数が急増し、農林被害の増加が懸念されるため、早い段階で捕獲を強化し、生息数を抑制する。

※ 既存事業

①有害鳥獣被害防止対策推進事業費：136,708千円（電気柵の設置、わな購入支援等）

②野生鳥獣捕獲体制強化支援事業費：25,591千円（個体数調整、猟銃購入支援等）

### イノシシによる農作物被害状況



田んぼへの侵入、稲の食害（上山市）



さくらんぼ園地の掘り起こし被害（寒河江市）

### シカが目撃件数等

- 目撃件数 H30年度：122件（H29年度：41件）
- 捕獲頭数 H30年度：10頭（H29年度：2頭）

## 事業内容

- 1 イノシシ等への被害防除意識醸成を図る研修会開催 1,000千円  
放棄果実除去、草刈り、緩衝林整備等の対策の有効性を広く周知することを目的に、被害対策アドバイザーを派遣し、被害防除意識（自助・共助）を醸成するための研修会を県内4地域で開催
- 2 イノシシの効果的な捕獲の実施 5,000千円
  - ① 捕獲時に損傷した「くくりわな」を補修し、継続的な捕獲につなげるため、補修資材の購入を支援 2,000千円
  - ② わな捕獲時の見回り負担を軽減するため、民間事業者との連携に要する経費を支援 2,000千円
  - ③ 新規のわな猟免許取得者を対象に、捕獲技術や安全管理に関するフォローアップ研修会を県内2地域で開催 1,000千円
- 3 イノシシ等の捕獲の担い手の確保・育成の強化 4,014千円
  - ① 新規狩猟免許取得者の猟友会入会を促進するため、猟友会によるセミナーを県内4地域で開催 774千円
  - ② 猟銃事故を防止するため、有害捕獲実施者向けに行う安全射撃講習会時の射撃訓練の弾代を支援 3,240千円
- 4 早い段階でのシカの捕獲対策の実施 2,613千円  
シカが急激に増加する前の早い段階で捕獲を強化するため、シカの越冬地等の県内2地域において、捕獲を実施